

令和 9 年度全国高等学校総合体育大会 東京都開催基本構想

1 目 的

令和 9 年度全国高等学校総合体育大会南関東ブロック開催基本方針に則り、令和 9 年度全国高等学校総合体育大会（以下「大会」という。）を契機に、高校生をはじめ、次代を担う子供たちに夢と希望を与え、競技力の向上やスポーツの推進に資することを目的とする。

また、大会の持続可能性に配慮しながら、高校生最大のスポーツの祭典にふさわしく、簡素な中にも参加者の心に残る企画・運営とする。

2 東京都開催の方向性

(1) 競技力の向上とスポーツの推進

ア 競技力の向上

高校生をはじめとする次代を担う子供たちが、この大会を契機に、高校のスポーツ界を、いずれは日本のスポーツ界を牽引していく力を育ませる。

イ スポーツの推進

高校生最大のスポーツイベントを通して、スポーツの魅力を広く都民へ発信することで、地域のスポーツ活動の活性化や健康増進の意識向上に寄与させる。

(2) 高校生活動の展開

ア 大会運営参画

高校生が企画・準備・運営に積極的に参画し、「する・みる・支える・知る」スポーツ大会を創り上げることを通じて、自らの未来を切り拓く力を育む。

イ 学校活動の活性化

この大会を支えることを学校の取組として位置付け、全ての高校生が感動と達成感を味わえるよう、高校生の総力を結集させ、学校活動の活性化に寄与する。

ウ ボランティア文化の一層の発展

高校生活動を通じて、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に浸透しつつあるボランティア文化の一層の発展を図り、レガシーとして継承していく。

(3) おもてなしと地域の魅力発信

ア おもてなし

成熟した社会インフラや大会関係者の温かいおもてなしで、全国から訪れる選手や関係者、観客などを歓迎する。

イ 高校生が交流を深め友情を育む機会

開催地の高校生を含め、全国から訪れる全ての高校生が、友情と親睦を深められるよう様々な場面を提供する。

ウ 競技会場等を拠点とした東京の魅力発信

全国から訪れる選手や関係者、観客などが思い出に残る大会となるよう、地域の協力を得て、様々な場面で東京の魅力を発信する。

(4) 効率的・効果的な大会運営

ア 熱中症対策の強化

選手はもとより、全国から訪れる関係者、観客など全ての人に対する対策を徹底する。

イ 環境への配慮

脱炭素化などについて配慮することで環境に優しい大会を目指す。

ウ 既存施設の有効活用

東京 2020 大会などの国際大会で使用した既存施設を、レガシーとして可能な限り活用する。

エ 高いパフォーマンスを発揮できる会場設定

全国から集まるトップアスリートたちが、その実力を思う存分に発揮できるスポーツ施設を設定する。

(5) 連携・協働の強化

ア 4 都県及び関係団体との連携・協働

4 都県の共通理解のもと、関係団体との協働作業を積極的に展開する。

イ 万全を期するための準備・運営

都民の信頼を得るため、公平・公正、透明性を確保し、スポーツの根幹であるフェアネスを体現した、準備・運営を行う。

3 準備・運営体制

東京都における大会準備・運営のため、東京都準備委員会を経て東京都実行委員会を設置する。なお、実行委員会における専門委員会の設置については、準備委員会の審議結果等を踏まえ、別途定める。

4 大会日程

全国高等学校総合体育大会開催基準要項（以下「開催基準要項」という。）に則り、大会日程を定める。

5 競技種目別大会の運営

開催基準要項に則り、全国高体連各競技専門部と関係中央競技団体、開催地都道府県実行委員会とが、密接な連絡をとりながらこれにあたる。

6 経 費

開催基準要項に則り、大会の準備並びに運営のための経費は、国庫補助金、東京都負担金、全国高体連負担金、助成金、参加料、寄付金、協賛金等を充てる。